

学生生活

本学では、学生の大学生生活を支援するために、学長をはじめ全教員によるオフィスアワーの設置、クラス担任制度等、学生が気軽に相談できる体制を整えています。

【学生なんでも相談室】

学生の進路、サークル活動・寮生活や下宿生活、対人関係など様々な悩みを一緒に考えながら援助するために設置しているのが「学生なんでも相談室」です。スタッフは、学生20名を学生総合相談員として発令する他、専任カウンセラー及び学外カウンセラーを配置し、メンタル相談にも応じております。



文京町地区の学務事務を一元化した学生センター



相談員による就職相談

【就職支援への取組】

学生就職支援センターでは、学生の職業意識の涵養、就職相談、就職支援の企画実施など多方面の活動を行っています。各学部にある就職関連委員会とも横の連携を強化し、学内・学外に向けた窓口の役割も務めています。

2年生から始まるキャリア教育「社会と私」、机の上から実際に外に出る東京地域企業見学会、OBとの懇談会、公務員・教員採用ガイダンス、就職ガイダンス、インターンシップ、業界研究会など学生の就職や進路に関する情報を発信しています。また、就職相談では学生が気軽にセンターに立ち寄ったり、一人一人じっくり相談できる体制をとっています。3年生の2月には青森県武道館を会場に、全国から企業にお集まり頂き、合同企業説明会を開催しています。そして4年生の就職活動。大学と社会と学生を結ぶ支援を行っています。



弘前大学合同企業説明会

【課外活動】

いろいろな学生や教職員との人間的なふれあいを通じ、行動力、適応力、協調性等社会を生き抜くための基本的な能力を涵養するとともに、有意義な学生生活を送るためにも、課外活動を奨励しております。本学には文化系サークル56団体、体育系サークル56団体の大学公認団体があり、近年多くの団体・個人が素晴らしい成績を挙げています。



弘前大学フィルハーモニー管弦楽団



空手道部

キャンパス散策(弘前大学)



弘前大学が所在する弘前市は、人口約19万人的中都市であり、かつて津軽藩10万石の城下町として栄えた由緒ある町です。

城跡は当時の規模のまま往時のたたずまいを残して公園となり、桜の名所として全国にその名を知られ、弘前市内には江戸時代の神社・仏閣や明治時代の洋館・教会など数多くの文化財が点在する教育・文化都市です。

弘前大学は、人文学部、教育学部、医学部、理工学部及び農学生命科学部の5学部から成り、それぞれの学部直結した大学院を有し、学問領域を広くカバーしている中規模総合大学です。本学は、「世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学」をモットーに、教育研究水準の向上を図り、人類文化に貢献し得る識見を備えた人格と、高い応用性を備えた専門性を身につけた人材の育成に努めています。

教育カリキュラムの特徴

【弘前大学21世紀教育と専門教育】

本学の教養教育は、「21世紀を生きるうえで必要となる基本的な力を養うこと」を目的とし、「弘前大学21世紀教育」という呼称で実施され、専門教育と有機的に連携したコア・カリキュラムによる教育の質の保証と、運営組織の責任制の確保及び教育評価の導入という柱から成り立っています。

授業は①学びの基本技能を身に付ける「導入科目」、②技能としての教養を学ぶ「技能系科目」、③新しい知識修得に必要な「基礎教育科目」、④考えるための教養を身に付ける「テーマ科目」、の4つの区分で構成されています。これらの科目が、「今」を考えるだけではなく、将来の自分と社会にどのように役立てるかを考え、取り組んでいけるよう構成され、各自の学習歴に対応して基礎学力の向上が図られるように配慮されています。



授業風景



弘前大学と弘前市



弘前大学正門

また、各学部では、それぞれの特徴を活かした「全学コア・カリキュラム制」を導入し、各分野・領域の基盤となる基礎学力を保証するコア科目群、及びその応用力を身につけさせるための発展・展開科目群を適正に配置し、社会の養成に答え得るべき基礎力を涵養しています。

【教職員が一体となる総合文化祭】

低迷気味だった学園祭を活性化させるために、本学では、5年前から学生主体の「弘大祭」と学部・教職員の「學術文化祭」を一体とした「総合文化祭」を開催しています。昨年のテーマ『WA!!』は、学生、教職員、地域の皆様がみんなで楽しめる祭り、参加者全員で一つの「輪」をつくり、「和」気あいあいと「話」をして、心から「笑」って元気になれる祭りを表します。期間中は、学生主体の模擬店や先端の学術研究を紹介する「知の創造」プログラムなど多彩な催しが開かれ、多くの地域の皆様が訪れ大盛況でした。

【キャンパス公園化】

文京町団地は弘前市内の住宅街に位置しており、市民の潤いの場となっています。この団地内には、豊かな緑地空間、四季折々の花木、池や水辺の散策路、大学ゆかりの石碑と訪れる市民を楽しませる仕掛けを随所に整備しています。

平成16年には、道路整備に伴い取り壊される計画であった職員宿舎が、旧制高校時代（大正14年築）の外国人教師宿舎であったことから、学内外から貴重財産を保存すべしとの声が高まり市民の寄付等により大学構内に移築し、本学の新たなシンボルとなっています。



総合文化祭



文京町：大学会館前



文京町：人文学部中庭（旧制弘前高等学校記念小庭園）

これまでは、大学に用事のある人がキャンパスを訪れるのみでしたが、最近では、市民も楽しめるイベント開催や「キャンパス公園化」のキャッチフレーズが広まり「大学に行ってみよう」という声をよく聞くようになりました。

建物の玄関部分には、身障者用の駐車場が整備されていますが、積雪時でも快適に使えるよう上屋や融雪装置の整備を17年度から計画的に進めています。



文京町：旧制弘前高等学校外国人教師館